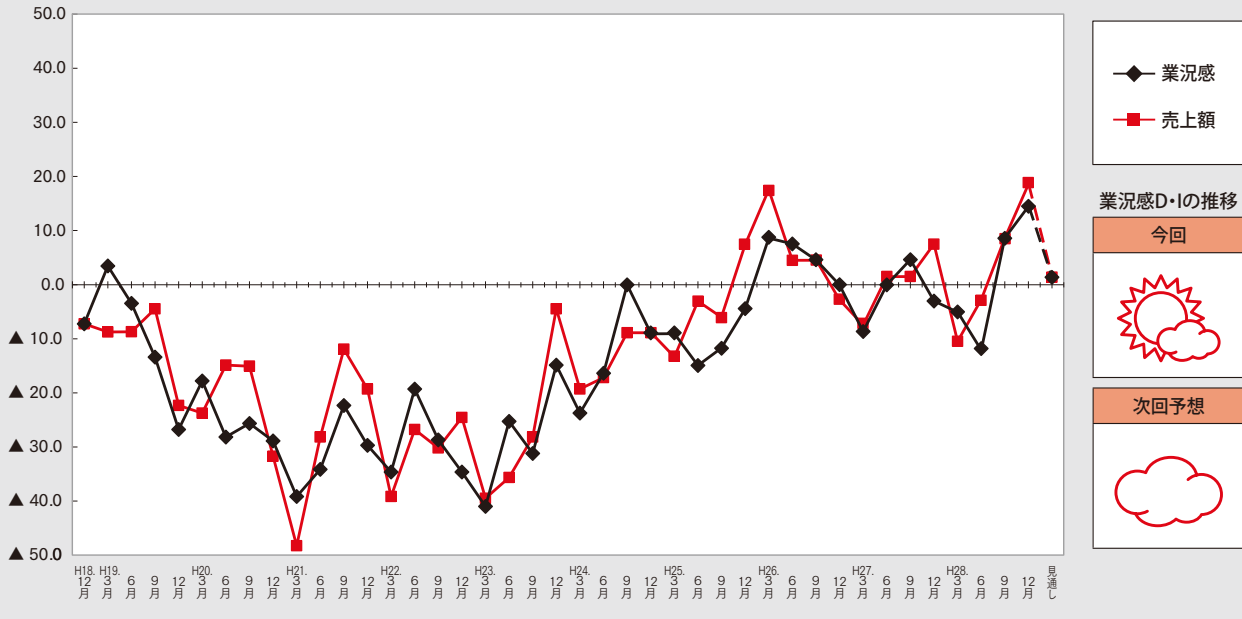


サービス業

Service industry

2期連続の業況感改善

D・I推移グラフ(サービス業)



1 今期 (平成28年10-12月期)

サービス業の業況感は、今期14.5まで改善。前期比で5.7ポイントの伸びとなっている。

今期のサービス業は、料金価格がわずかに悪化した以外、ほとんどの項目で好調であり、特に売上額および収益D Iの改善が大きい。収益D Iについては、前期比20.2ポイント改善しており、収益D I値としては、調査開始以降最も高い21.7となっている。

雇用面については、やや不足感が強まったほか、資金繰りも改善が見られる。

2 来期の予想 (平成29年1-3月期)

来期の業況感は、1.4となり今期の改善から一転して、13.1ポイント悪化する予想となっている。その他の項目でも悪化幅が大きく、売上額が▲17.4ポイント悪化、収益は▲21.7ポイントと著しい低下を見せている。

料金価格は横ばい、材料価格はわずかに改善しているものの、D I値は低い水準にとどまっている。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 12月期	H28. 3月期	H28. 6月期	H28. 9月期	H28. 12月期	来期 見込み
業況感	▲ 3.0	▲ 5.9	▲ 11.8	8.8	14.5	1.4
売上額	7.4	▲ 10.3	▲ 2.9	8.8	18.8	1.4
収益	2.9	▲ 8.8	▲ 2.9	1.5	21.7	0.0
料金価格	5.9	8.8	1.5	5.9	5.8	5.8
材料価格	▲ 19.1	▲ 7.4	▲ 7.4	▲ 16.2	▲ 14.5	▲ 13.0
在庫	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 5.9	▲ 10.3	▲ 19.1	▲ 10.3	▲ 5.8	▲ 4.3
人手	10.3	10.3	7.4	2.9	13.0	13.0
設備状況	5.9	7.4	7.4	13.2	23.2	20.3

業況調査メモ

他の県では真似できない、鹿児島ならではの魅力ある観光スポットは何か。日ごろ外国人観光客と接する機会が多いホテル関係者に聞くと、それは鹿児島県の南に点々と連なる島々だという。鹿児島経由で屋久島や種子島、奄美大島を訪ね、島独特の自然や食文化に触れ、感動して帰る外国人が増えているという。小さな島々も魅力的で、海外旅行慣れしている富裕層の人が、噴煙を上げる硫黄島の風景に感動し、世界中の人たちに伝えるべきだと強調したという。種子島では2017年4月、種子島いわさきホテルが10年ぶりに再開する。SNSなどを駆使しながら鹿児島の離島の魅力を世界市場に情報発信したい。